

## 研究シーズのタイトル

家族の多様性

## 研究者名

黒川 すみれ

## 所属

人間社会学部

## 研究シーズの専門分野

家族社会学, 労働社会学

## 研究シーズのキーワード

家族規範, 結婚・離婚・再婚, 出産・育児, 性別役割分業, ワークライフバランス

## 研究シーズの概要

現代のさまざまな家族のかたちについて研究しています。近現代の家族の動向をみると、単身世帯の増加や共働き世帯・専業主婦世帯の増減、出生行動の変化、性別役割分業意識や家族観の変化など、家族は実態面でも意識面でも大きく変化してきました。特に家族形成に着目すると、結婚や子どもをもうけることの選択、誰とどのようにパートナー関係を結ぶのか、仕事と家庭の両立をどのように果たすのか、親子の介護・同居問題にどう向き合うのかなど、家族形成の選択肢の拡大とともに、考え方や行動の多様性が注目されています。「家族らしさ」とは何かを問い直すことを通して、現代家族が抱える困難とその多様性について研究しています。

## 研究シーズの適用分野

結婚や出産、育児、介護、性別役割分業、夫婦・親子関係など、家族社会学の伝統的な研究テーマだけでなく、パートナーシップ制度（同性婚）やステップファミリー、ひとり親世帯など、多様な家族のかたちが適用範囲となります。また、家族と女性の就業は深く関連しています。女性の就業はその多くが家庭との調整役割を担うものであり、配偶者の所得水準や子どもの年齢によって柔軟に働き方を変化させるパターンが多く見られます。家族内の役割分担のあり方や、自治体・企業のワーク・ライフ・バランス施策や男女共同参画に関する取り組みなども重要なトピックです。